都小視研会報

令和5年2月13日(R4－1)

東京都小学校視聴覚教育研究会　　事務局　中野区立平和の森小学校
URL　http://teav.cside.com/　　〒165-0026　中野区新井3－29－1
e-mail　mail@teav.cside.com　　電話　03-3389-1451　Fax.　03-3389-1452
通刊 334 号

GIGA スクール構想…新たなフェーズへ

東京都小学校視聴覚（情報・ＩＣＴ）教育研究会
会長　**武智　直貴**
（中野区立平和の森小学校長）

一部で、児童に一人１台タブレット端末が配当されてからすでに５年を数える自治体があるものの、大方は今年度末で２年が過ぎるという状況である。GIGA スクール構想の前倒しにより準備不足が否めない中、一気に導入が進んだ一人１台端末に対し、ちょうど１年前の今頃は、教員個々の活用スキルの差や、各自治体の ICT 環境の差などが課題だとして、これらの課題を今後どのように解決していったらよいか、本研究会でも実践や情報の提供、共有等、様々な取組を進めてきたところである。「主体的、対話的で深い学び」や「個別最適な学び」「協働的な学び」といった目指す授業の姿を現すいくつかのキーワードを実現するために、「学習効果の高いアプリは何か」「タブレットを授業でどのように使わせたらよいのか」「タイピングのスキルは、何年生でどの程度身につけさせればよいのか」などについて、聞いたり考えたりする教師が多かったように思う。そうやって試行錯誤してきたこの２年で、様々な実践を通して教師が個々に自ずと成長してきたと感じることがある。

①ネット環境による不安定な接続状況に対し慌てなくなったこと

数名ネットにつながらない子がいたり、タブレットを忘れたり破損して修理中だったりしている子がいると、学習が進められないという不満につながっていたが、経験を積んだことでいわゆる「慣れ」の状況になってきたことが大きい。このことは、全員に等しく同じ作業を進めさせたいという、古き一斉指導のイメージを払拭するきっかけにもなっている。「個別最適な学び」の実現には、子どもがそれぞれ違った進度であったり、それぞれが適切と考える方法やツールで取り組んだりするなどの一人一人違う状況を認め、受け入れることが肝要である。

②タブレットを対話のためのツールとして追究し始めたこと

ドリル学習や何かを調べるような個々の使い方だけでなく、タブレットに個々の考えを現し、それを共有することで対話を生み出し、よりよいものを協働的に追究する学びが確実に増えてきた。対話の場面では、一人１台よりもグループに１台の方が話しやすかったり、話し合ったことをグループの代表の子に入力させたりすることで、効率よく学べることなどを実感し、さらなる改善を目指す教師の姿が見られるようなってきた。

③デジタルの課題や作品を評価することに慣れてきたこと

○付けをしたり、そこに赤でコメントを入れたりする評価は紙やノートの方がやりやすいし、子どもの把握もしやすいとしてきたが、デジタル上の評価にチャレンジする教師が増えてきたことに加え、課題配布や回収、評価がしやすいアプリも多数登場し、評価のデジタル化も進んできているように思う。小学校では就学したばかりの１年生と中学生直前の６年生では成長に大きな差があり、低学年ではアナログなスキルをしっかり身につけさせたいという願いがある。そのため、小さな机の上に教科書、ノート、筆箱、タブレットと置ききれんばかりの何とも非効率な状況が課題である。今後は、児童用教科書もデジタル化が進み、子どもたちのタイピングスキルが上がり、タブレットにペンで簡単にメモ書きもできるような状況になれば、日々の持ち物が減り、机の上がタブレットだけ…のような授業も増えていくのではないか。

たった２年で教師の意識が大きく変わってきていることを実感し、ここからはこの新しい学習環境において、子どもたちに授業でどんな力を育てていくかを教師が具体的に考え実践していくフェーズに入ってきたものと思う。ネット社会で身近になった情報と進化したツールの活用により、子どもたちは幼くして多くのことに触れ、すごいスピードで様々なスキルを身につけている。あとはその使い方である。学校の役割はそこにある。

研究主題（第14次）

新しい時代に生きる力を育む視聴覚(情報・ICT)教育の追究

～個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた授業デザインを通して～

令和4年度主要研究日程

月	全体研修会・授業	月例研究会・事業	都大会、映画フェア 等
3		3(木)　月例研究会⑨ 会場：zoom開催 ・令和3年度の反省 ・令和4年度の計画	
4	(令和4年度)	14（木）　月例研究会⑩ 会場：zoom開催 ・令和4年度の組織・計画 ・理事会について ・第1回授業研究会	
5	19（木）全体研修会Ⅰ 会場：zoom開催 ・実技研修会 ・第1回授業研究会に向けて	19（木）　月例研究会⑪ 会場：zoom開催 ・理事会について ・第1回授業研究会について	○映像研究会 日本視聴覚教育協会 ・映画フェア上映作品選定
6		2（木）　月例研究会① 会場：zoom開催 ・理事会 ・全国（都）大会について ・第1回授業研究会について ・夏期講座について	
7	7（木）　授業研究会① 会場…　葛飾区立本田小学校 授業者…山嵜雅彰先生 講師…　榎本竜二先生(中央大講師) ・研究部総会	14（木）　月例研究会② 会場：zoom開催 ・第1回授業研究会反省 ・全国(都)大会実践報告案検討 ・夏期講座について	
8	19（金）　全体研修会Ⅱ 会場：zoom開催 ・アプリ体験（3社） ・全国(都)大会実践報告案検討	19（金）　午前 第22回こども映画フェア （感染症対策のため中止） 19（金）　午後　夏期講座 会場：zoom開催 ・全体研修会Ⅱ（実技研修） ・全国(都)大会に向けて	○研究集録計画
9		1(木)　月例研究会③ 会場：未定 ・第2回授業研究会について ・全国(都)大会に向けて ・顧問会、理事会について	26（月）　顧問会 書面開催（会長校） ・令和3年度事業報告 ・令和4年度事業計画

令和4年度主要研究日程

月	全体研修会・授業	月例研究会・事業	都大会、映画フェア 等
10		6（木）　月例研究会④ 会場：中野区立平和の森小学校 zoom併用開催 ・全国(都)大会準備 ・第2回授業研究会について ・箱根特別宿泊研修会について	6（木）　第1回理事会 書面開催（会長校） ・令和3年度事業報告 ・令和4年度事業計画
11	12（土）全体研修会Ⅲ（全国・都）	10(木)　月例研究会⑤ 会場：未定 ・全国(都)大会準備 ・第2回授業研究会について ・箱根特別宿泊研修会について	12（土）全国（都）大会 オンライン開催 ※都小視研より4つの実践発表 ・経年指導実践報告 ・校務におけるICT活用 ・デジタル教科書効果検証 ・プログラミング教育実践報告
12	授業研究会② 会場…　江東区立第二砂町小学校 授業者…川添拓海先生 講師…　須藤太郎先生 26(月)冬期特別研修会 会場：オンライン ・テーマ…カリ・マネと情報モラル	1(木)　月例研究会⑥ 会場：未定 ・全国(都)大会反省 ・箱根代替特別研修会について	○研究集録作成
1		19（木）　月例研究会⑦ 会場：未定 ・冬期特別研修会反省 ・第2回理事会について	○研究集録編集、印刷
2		2（木）　月例研究会⑧ 会場：未定 ・研究集録について ・第2回理事会について	日程調整中　第2回理事会 会場：会長校
3	2（木）　全体研修会Ⅳ 会場：会長校 ・令和5年度の研究方針 ・映像研究会	2（木）　月例研究会⑨ 会場：会長校 ・令和4年度反省 ・令和5年度計画	2（木）　映像研究会 会場：会長校 ・映画フェア上映作品選定
4	(令和5年度)	13（木）　月例研究会⑩ 会場：会長校	

○ 補足　上記以外にも、Web会議・Webページ更新・会報発行等が入る。
　　日程と会場校は年度当初の予定。変更となる可能性あり。
○ 全国大会は11月12日(土)、東京を本部とするオンライン開催。都小視研より4つの実践発表を予定
○ 都大会は全国大会と同時開催。公開授業は行わない。4つの実践発表の中で、都小視研の取組紹介を含める予定。
○ 授業研究会を1・2学期に入れる。全国大会が11月のため、第3回授業研究会を状況に応じて3学期に計画する。
○ 昨年都大会会場校として協力いただいた九段小の発表（12／9）に、協力・参加する。

令和４年度　理事

地区	理事名	職名	学校名	地区	理事名	職名	学校名
千代田	清水　明	校長	九段小	府中	南條吉男	校長	武蔵台小
中央	小川　優	校長	阪本小	昭島	松川靖弘	校長	成隣小
港	宮島淳一	校長	麻布小	調布	川島隆宏	校長	第一小
新宿	篠塚幸次	校長	西戸山小	町田	野末直美	校長	小山中央小
文京	岩﨑政弘	校長	金富小	小金井	小幡　聖	副校長	小金井第四小
台東	田中康雄	校長	上野小	小平	木田明男	校長	小平第三小
墨田	川中子登志雄	校長	第三吾妻小	日野	大西浩之	校長	日野第七小
江東	望月　潔	校長	東雲小	東村山	新井晶子	校長	久米川小
品川	藤森克彦	校長	大井第一小	国分寺	内海將行	主任教諭	第八小
目黒	鈴木　稔	校長	碑小	国立	苫米地髙志	校長	国立第一小
大田	金髙俊哉	校長	梅田小	福生	榎並隆博	校長	福生第六小
世田谷	小田正弥	校長	尾山台小	狛江	杉　達雄	校長	狛江第六小
渋谷	荒木憲秀	校長	笹塚小	東大和	下条知淑	校長	第七小
中野	武智直貴	校長	平和の森小	清瀬	鈴木竜二	校長	清瀬第十小
杉並	堅山浩人	校長	方南小	東久留米	大友基裕	校長	第九小
豊島	間嶋　健	校長	巣鴨小	武蔵村山	井内　潔	統括校長	小中一貫校村山学園
北	江口千穂	校長	王子第二小	多摩	森　信行	校長	南鶴牧小
荒川	川上　晋	校長	汐入小	稲城	井上　央	校長	稲城第一小
板橋	荻久保剛正	校長	板橋第一小	羽村	小山夏樹	校長	小作台小
練馬	鈴木　英明	校長	大泉学園緑小	あきる野	森　真二	校長	前田小
足立	加納和彦	校長	西新井小	西東京	黒羽次夫	校長	けやき小
葛飾	宮原賢二	校長	末広小	瑞穂	高橋一広	校長	瑞穂第四小
江戸川	伊藤秀一	校長	一之江小	西多摩	瀬戸隆幸	校長	日の出町立平井小
八王子	加藤方浩	校長	横川小	大島	吉澤　淳	校長	つつじ小
立川	関口保司	校長	第五小	新島	河津　力	校長	新島小
武蔵野	赤羽幸子	校長	大野田小	三宅	松田　隆	校長	御蔵島小
三鷹	藤原和彦	校長	第六小	八丈	大場一輝	校長	三根小
青梅	森田哲生	校長	第七小	小笠原	横山優美	校長	小笠原小

氏名欄が空欄の自治体は、地区視聴覚教育担当指導主事に連絡窓口をお願いする。

■令和４年度都小視研　役員・事務局員・研究推進委員　一覧

◆　顧問	伴　憲三郎	小阪　順二	大内　勝	古川　和彦
(歴代順)	木村　和夫	古谷　尚律		
◆　参与	滝原　美智子	小林　昭	柿沼　昭	関口　文男
(歴代順)	村山　寿	近藤　忠美	広澤　フサ子	矢島　富士雄
	松本　浩子	山東　正昭	石塚　勝之	湯地　和夫
	武藤　育夫	吉田　一夫	米澤　利正	古川　恵子
	原田　哲	藤澤　勇夫	細川　猛彦	内田　忠康
	下城　英和	須藤　太郎		

■会長・副会長・事務局長・研推委員長の仕事分担

会　長	武智　直貴	会　長	○総括
副会長	川島　隆宏	会長代行	○都小視全体運営 ○学視連連携 ○全国大会 ○関ブロ大会 ○各種功労推薦
副会長 事務局長	幅　健司	事務局担当	○事務局運営(月例会・理事会顧問会・都大会事務局) ○都区後援依頼 ○会計・監査指導　○印刷関係渉外
研究推進部長	原　香織	研究推進部担当	○授業研究会運営(定例授業研究会・都大会授業・全国大会での授業及び提案) ○研究主題・研究構想

◆役員・事務局

	氏　名	地区	校名		氏　名	地区	校名		氏　名	地区	校名
会　長	武智　直貴	中野	平和の森	研究部員	中岡　誠也	千代田	九段	研究部員	重信　結基	足立	青井
副会長	川島　隆宏	調布	第一	〃	岩瀬　悠太	千代田	九段	〃	田村　近茂	足立	花保
事務局長	幅　健司	練馬	立野	〃	加藤　達也	千代田	和泉	〃	宇賀神達哉	足立	舎人
庶務部長	高瀬　雄二	江戸川	西葛西	〃	黒島　健太	中央	京橋築地	〃	三浦　悠嗣	足立	本木
庶務副部長	飯島　嘉正	江戸川	南小岩第二	〃	嶋田　歩実	文京	湯島	〃	山嵜　雅彰	葛飾	本田
〃	外山　俊吾	豊島	高南	〃	玉置連太郎	台東	富士	〃	西川　貴大	葛飾	よつぎ
広報部長	南枝　弘之	立川	第九	〃	篠原　雄	墨田	梅若	〃	松本　雄企	八王子	高倉
会報部長	山口　朗太	江東	深川	〃	松林　慶樹	江東	東川	〃	神川　達也	武蔵野	大野田
会計部長	赤嶺富美子	練馬	大泉東	〃	俵　宏樹	江東	香取	〃	畠　帆郎	三鷹	中原
庶務副部長	黒木　聡子	国分寺	第九	〃	大川原充美	江東	元加賀	〃	武井　茂樹	調布	第一
研修部長	曾木　誠	杉並	四宮	〃	亀山　俊	江東	東砂	〃	鶴見　陽子	調布	第二
調査部長	秋田　克己	日野	旭が丘	〃	廣野　良明	江東	第五大島	〃	谷川　航	小平	小平第三
会計監査	髙木　圭一	大田	蒲田	〃	景山　孝一	江東	毛利	〃	岡部　創介	小平	小平第三
				〃	川添　拓海	江東	第二砂町	〃	北原　康弘	国分寺	第三
				〃	高橋　優子	品川	延山	〃	宮崎　友和	国分寺	第四
				〃	岸田　淳生	品川	大井第一	〃	大井　恒太	国分寺	第六
				〃	吉野　修平	世田谷	代沢	〃	山崎　怜	東大和	第八
				〃	風間　裕子	杉並	井荻	〃	吉田　隆臣	東久留米	神宝
				〃	小川　大二	豊島	椎名町	〃	宮本　知瑛	稲城	稲城第四
				〃	田村　紘子	豊島	椎名町	〃	鹿目　裕一	西東京	東伏見
				〃	宮内　和浩	豊島	池袋本町				
				〃	長坂　知哉	豊島	池袋				
				〃	高阿田詩音	北	西が丘				
				〃	佐々木幸人	北	神谷				
				〃	波多野　守	荒川	尾久				
				〃	井口　輝人	荒川	尾久宮前				
				〃	小川　琢也	荒川	尾久宮前				
				〃	松岡　祐樹	荒川	第四峡田				
				〃	中村　公典	板橋	北前野				
				〃	鎌田　睦世	練馬	高松				
				〃	平澤　望	足立	北鹿浜				

◆研究推進部

	氏　名	地区	校名
部　長	原　香織	豊島	椎名町
副部長	江口　千穂	北	王子第二
〃	金高　俊哉	大田	梅田
〃	井上　光広	大田	矢口
〃	曾木　誠	杉並	四宮
〃	戸邊　豊	台東	浅草
主　任	池田　昌弘	板橋	桜川
〃	大竹　守	江戸川	下鎌田東
〃	簑輪　幸一	足立	舎人
〃	鵜川　孝之	板橋	区教委
〃	西野　俊章	板橋	蓮根
〃	鈴木　康晴	江戸川	東小松川

■GIGAスクール構想の進捗状況

◆立川市

1．令和４年３月に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が解除され、全校朝会は校庭で行われる従来型が戻ってきた。児童集会は、体育館でしか行えない内容については、今もミートで行う学校がある。
2．クラブ活動では、プログラミングクラブでのスクラッチの活用、イラストクラブ等でのGoogle検索や、クラスルームを通じた児童への通知等を行う学校がある。
3．委員会活動では、お昼の放送を放送室から行わず、廊下からミートによる番組配信を行っている学校がある。
4．市内では、児童用デジタル教科書を部分的に導入している。更に、ドリル教材も多くの学校が採用している。後者については、児童用アカウントの作成・登録、維持管理を教員が行わねばならないケースもあり、その場合、大きな負担となっている。
5．教科の指導では、全学年がクロームブックを活用している学校、高学年がジャムボード、低学年がカメラを活用している学校、活用状況が教諭によって一様ではない学校がある。
6．学校公開をミートで行った学校や、道徳授業地区公開講座を動画配信（オンデマンド型）で行った学校もある。
7．不登校児や長期欠席児（濃厚接触者として）等の対応として、担任と個別のクラスルームを作成し活用している学校もある。

◆小平市

市内小・中学校で児童生徒が1人1台使用できる端末を1日1回は使うことを目標に取り組んできて高度情報化社会の中で、誰一人として取り残されることがないように、活用場面を増やしていく中でより良い使い方や情報モラルについて教育を行っている。

学習者用端末を活用したデジタルドリルの導入や各種学習ツールなど様々なものを試しながら児童・生徒の実態にあっているのか、教育効果が高いのかなど見極め、来年度以降の導入に向けても動いている。

また、市内の情報教育部や市内の教員全員が入るクラスルームで各校の情報を共有し、より良い取り組みを市内に広げたり、改善策を他校で生かしたりしている。これからも情報共有を密にして、市内一丸となってよりよい活用に取り組んでいく。

◆板橋区

NEC製Chromebookを1年生から６年生までの児童全員に配布している。Google IDが割り与えられていて、Google Workspace for Educationが使用できる。ミライシードを授業支援アプリとして導入している。情報教育推進リーダーが年に３回研修を受け、校内の教員に還元研修を開き、教員が支障なく活用できるように配慮されているため、円滑に活用が進んでいる学校が多いようである。児童も一人一台端末を用いることが日常化している印象を受けるが、夜中まで使用してしまう児童がいたり、主に活用頻度が少ない低学年において毎日充電して持ってくることを負担に感じている家庭があったりといったような課題もあるようだ。成果と課題を整理して、更なるGIGAスクールの発展を目指していきたい。

事務局だより

都小視研では、コロナ禍の令和３年度の活動を、オンライン会議を中心に、縮小して取組を進めている。今年度、７月までの主な取組は、以下の通りである。

■４月研推・事務局会
　４月１４日（木）　ZOOMによるオンライン会議
　・令和４年度計画　・令和３年度反省　・情報交換
■５月研推・事務局会
　全体研修会Ⅰ
　５月１３日（金）　ZOOMによるオンライン会議
　・第１回授業研究会について　・全国大会、夏期講座について
　・映画フェア（上映作品選定）　・情報交換
■６月研推・事務局会
　６月２日（木）　ZOOMによるオンライン会議
　・理事会、顧問会について（書面決議による実施を決定）
　・第１回授業研究会について（７月以降に実施）　・全国大会について
　・夏期講座について　・情報交換
■授業研究会
　７月７日（木）葛飾区立本田小学校
　授業者…山嵜雅彰先生　２年国語「ことばで絵をつたえよう」
■７月研推・事務局会
　７月１４日（木）　ZOOMによるオンライン会議

都小視研会報334号（R4-1）　令和５年２月13日
発　行　東京都小学校視聴覚教育研究会
責任者　会　長　武　智　直　貴
事務局　中野区立平和の森小学校
編　集　事務局　会　報　部
印刷所　タマタイプ　Tel042-562-0965